

# ぜんぶ、 ひょうごの木



## ぜんぶ、 ひょうごの木

発行日：令和4年3月30日

発行：兵庫県農政環境部農林水産局林務課

こちらでも「ひょうごの木」を使用した木製品を紹介しています  
兵庫県公式Instagram「HYOGO\_NO\_KI」

「ひょうごの木」で作ったモノに囲まれる暮らしをテーマに、ひょうご木製品  
マイスターの製品の紹介や、マイスターが参加するイベント情報も随時配  
信します。「#いいね!!ひょうごの木」「#ひょうごの木と遊  
ぶ」「#ひょうごの木と暮らす」のいずれかのハッシュタグを  
つけてくださった投稿も紹介。「ひょうごの木」に囲まれた  
暮らしを覗いてみてください。



【問い合わせ先】

兵庫県農政環境部農林水産局林務課木材利用班

Tel:078-362-9224 Fax:078-362-3954

E-mail: rinmuka@pref.hyogo.lg.jp



「ひょうごの木」×「ひょうご木製品マイスター」ロゴマーク  
ひょうご木製品マイスターと兵庫県が協働して作成したロゴ  
マークです。このマークは、ひょうご木製品マイスターが「ひょ  
うごの木」で製作した木製品などに使用され、「ひょうごの木」  
を使うことが森林保全に貢献していることを表しています。

# ぜんぶ、 ひょうごの木

## CONTENTS

02 Introduction

04 REPORT1 兵庫の「木」と「樹」をめぐるストーリー  
そこに「樹」があるのに

06 REPORT2 兵庫の「木」と「樹」をめぐるストーリー  
近くにあるものを、当たり前に使いたい

08 FURNITURES

10 REPORT3 兵庫の「木」と「樹」をめぐるストーリー  
山や木とともに生きる豊かさを次の世代にも

12 GOODS & ACCESSORIES

16 TOYS

18 【建具】無垢材を手入れしながら使い続ける。

20 ひょうごの森と木にまつわるエトセトラ

22 LIST ひょうご木製品マイスター



## 兵庫の「木」と「樹」

「樹木は生きているのだから、「木」じゃなくて「樹」ではないだろうか」。  
兵庫の森林の循環を守りたいという想いに賛同し集まった「ひょうご木製品マイスター」たち。家具職人や材木屋など、それぞれの立場から兵庫の樹木と向き合ってきたマイスターたちと「ひょうごの木」ってなんだろう？と考えたときに一人のマイスターが投げかけた言葉です。  
兵庫県は面積の7割が森林。各地域に山との暮らしがありました。自生するコナラやアラカシを薪にしたり、スギやヒノキを植え、家の柱や家具にする。時代は移り、暮らしも変わりましたが、それでも暮らしから「木」が消えることは決してない。そこにはきっと理由があるはずです。  
兵庫の森林に生育する樹木や木材を「ひょうごの木」と呼ぶことにしました。名前をつけたから有名になるわけでも価値が出るわけでもありません。「木」が「樹」か、正解もありません。ただ、マイスターたちとともに、「ひょうごの木」という言葉を通して、その存在を考え続けていきます。

### 「ひょうご木製品マイスター」

兵庫の森林に生育する樹木や木材「ひょうごの木」を使った家具や建具、雑貨などを制作・販売している事業者です。

### 「この冊子を制作した兵庫県林務課の想い」

ひょうご木製品マイスターの製品を身近な暮らしの中でより広く使っていただくことで、兵庫県の森林保全にも繋がればとの想いで制作しています。

遠く海外の木材を使うことの違和感。自分の思いに向き合い、「樹」と誠実に向き合い始めた木工作家の挑戦。



# そこに「樹」があるのに



1. 工房に併設するギャラリーにて迎山直樹と製作スタッフ。2. 「自分の手と目が届く範囲で」数を作らないというスタンスについては、スタッフの人数も同じ。3. 「人の手だからこそ出来るものを」メーカーでなく自分たちが作る意味を求めて。4. 2019年に開催された「一脚展」での特別展示「六甲山の樹×木工家」の様子。

## MEISTER'S

### 人間本来の在り方を見つめる。

本当はやっぱり自分で削った鉛筆を使う豊かさがあるはずで。「そこに在るもの」を使うことに対して手間をかける。不便さの中に豊かさを追求していくような、人間本来の在り方を見つめたい。(テノン合同会社 迎山 直樹)

料として使いやすかったが、何となく後ろめたい感覚がずっとあった」と話す。  
そんな時、地元佐用町の森林で、自ら手鋸で木を切る機会があった。「切り口から水滴を木を見て、その生々しさに、『材料』として見ていた木が命のある『生きもの』であることを見せつけられた。材料の『木』ではなく生きていく『樹』であることを実感した経験だった。『樹』を自分たちの都合で『材料』とする以上、もっと手にかけて大切にしたい、いけないと思った」。

2019年には、県下の家具作家が集う「一脚展」にも参加。六甲山材で椅子を作ること、地域材を使うことにも目が向き始めた。

「これまでやってきた椅子作りは次の世代に引き継ぎ、これからはこの佐用町の『樹』を育てて活用することをライフワークにしたい」といい、近く別会社を設立、これからの人生を新しい挑戦に捧げる。「例えば節があれば個性として捉える。通常は使い物にならない虫喰い材も、その風合いを活かして唯一無二の作品にする。これまで避けてきた針葉樹も、固定観念に縛られずに使っていきたい」とも話す。迎山のネクストステージは始まったばかりだ。



椅子作りの木工作家として、国内でも有数の実績を持つ迎山直樹。生まれ育った佐用町に工房を持ち28年になるが、ある違和感を持ち続けていた。「工房を訪れるお客さんに、材料の木があるから、ここに工房があるので、すね」と言われるが、実際は海外から輸入した木材が材料。外国産の広葉樹は規格も均一で材

「つながり」から生まれる地域材の活用。共通の想いを持ちながら、それぞれの生業で「森林との関わり」を考える



# 近くにあるものを、 当たり前に使いたい



1.洲本市による景観整備のための伐採で開けた大阪湾を望む景色を前に、一級建築士の平松 克啓 (左)、林業家の新庄 道 (中)、木工家の北島 庸行 (右)。2.樹々に囲まれた工房「アトリエKKA」での木工家・北島 庸行。3.ヒラマツグミ一級建築士事務所 で保管され、使われる機会を待つ地域の伐採木。4.「淡路島の家」で使われた淡路ヒノキの端材で作った鉛筆や淡路島で伐採された木で作った器などの木工作品。(ヒラマツグミ一級建築士事務所のギャラリーにて)

**MEISTER'S**

「近場の雑木」という私のライフワーク。

近場の木を使おうと思っても、径も大きくないし虫食いも割れもある。これをどう使ってやろうか、と考えるのがおもしろい。「チカバノゾウキ」と名付け、ライフワークと位置づけています。  
(アトリエKKA 北島 庸行)

「昔は先代が植えた木を切って家を建てたという淡路島には、近くにあるものを当たり前前に使いたい、という想いがある。そこには世代を超えた物語も生まれる。現在は林業のサイクルをどう作るか模索中だが、同じ想いを持つ人となら、森林との新しい関わり方を見つければ」と話すメンバーたち。歩を進めながら、森との関わりを考え続けている。

「昔は先代が植えた木を切って家を建てたという淡路島には、近くにあるものを当たり前前に使いたい、という想いがある。そこには世代を超えた物語も生まれる。現在は林業のサイクルをどう作るか模索中だが、同じ想いを持つ人となら、森林との新しい関わり方を見つければ」と話すメンバーたち。歩を進めながら、森との関わりを考え続けている。

「昔は先代が植えた木を切って家を建てたという淡路島には、近くにあるものを当たり前前に使いたい、という想いがある。そこには世代を超えた物語も生まれる。現在は林業のサイクルをどう作るか模索中だが、同じ想いを持つ人となら、森林との新しい関わり方を見つければ」と話すメンバーたち。歩を進めながら、森との関わりを考え続けている。

「昔は先代が植えた木を切って家を建てたという淡路島には、近くにあるものを当たり前前に使いたい、という想いがある。そこには世代を超えた物語も生まれる。現在は林業のサイクルをどう作るか模索中だが、同じ想いを持つ人となら、森林との新しい関わり方を見つければ」と話すメンバーたち。歩を進めながら、森との関わりを考え続けている。



その土地に生え、根ざした家は、いつかその地へ還っていく「淡路島の家」



4



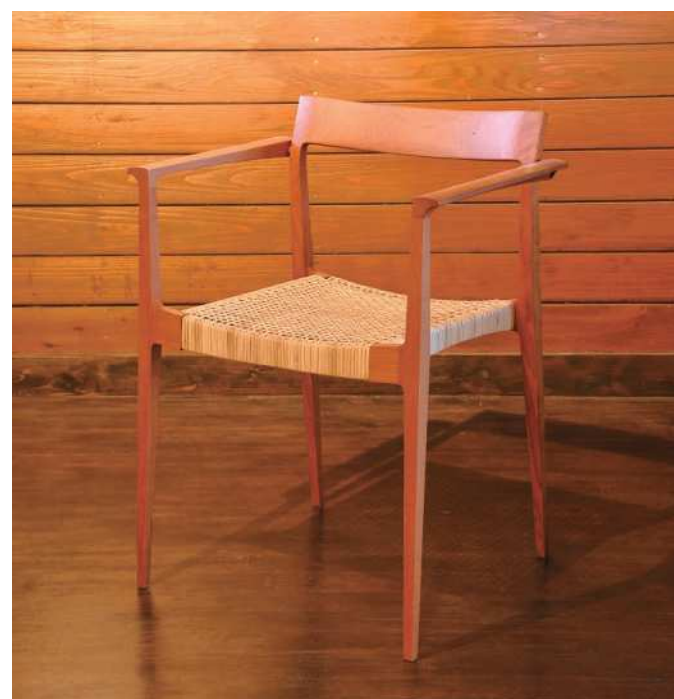
2



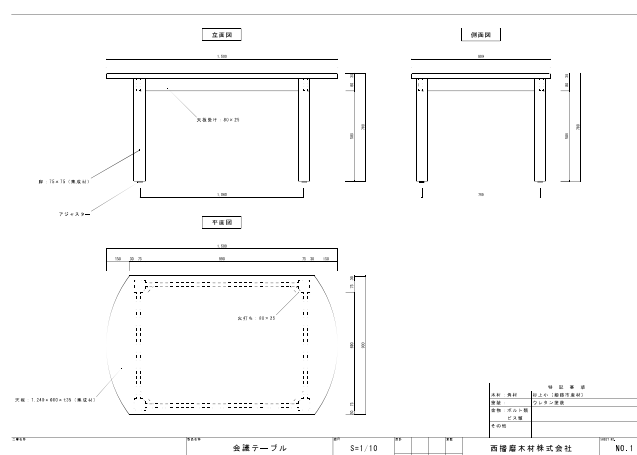
1



3



5



6

**6**  
杉の会議用テーブル

間伐材の欠点でもある反り・曲りを出しにくくするため、集成材にして組み上げている。

**5**  
軽量でスタッキング可能なチェア

約2.8Kgのスタッキングチェア「ST-chair」。グッドデザイン賞等受賞。

**4**  
家具デザイナー小泉誠氏のシリーズ

地域工務店集団「わざわ座」が各地の地域固有の材で制作するシリーズ「大工の手」。

**3**  
「A-1 chair - Forest」

「木が森に育った時の記憶を残しているように」と制作された、コンセプトモデル。

**2**  
杉と栗のスツール

兵庫県産の杉と栗を使って制作したスツール。

**1**  
CHILD CHAIR MARUCO

スタッキングできる子ども用椅子。脚にコナラ、座板にはヤシャブシを使用。

**MEISTER'S** 身近なスギやヒノキを使うために模索中。  
但馬に身近にあるスギやヒノキ。せっかくなら、と家具制作を試みるも柔らかすぎる材質に挫折したことも。でも体が触れる部分にだけ使用するなど特徴を活かした方法を模索しています。(大槻家具工房 大槻 卓)

**MEISTER'S** 木のトレーサビリティも大切に。  
地元の森の状況を知り理解を深めてもらうために、宍粟の山に入りきこりに会いに行くピクニックを毎年、実施。食べものでは当たり前になった、トレーサビリティも考えていきたい。(株式会社大塚工務店 大塚 伸二郎)

多可町産ヒノキを活かす仕組みの再構築。地域で森林を活用してきた技術を守るために、できること。

「森林を元の姿に戻し、地域全体を活性化したい。」と語る、太田 亨（所有の山にて）



# 豊かさを も

# 山や木とともに生きる 次の世代に



1.森林から伐り出された丸太は、製材所の帯鋸製材機で加工される。2.「mocca」にて木工作家・野澤 裕樹による木工品づくり。木の塊はあつという間に器の型に。3.作品が並ぶショップ内で、父娘そろって。4.ショップで販売されている多可町産ヒノキで作られた木肌も美しい器たち。

## MEISTER'S

「当たり前」を失うのはもったいない。

冬は山に入り、春には田んぼ、夏野菜を作り、秋に収穫して。そんな暮らしの中にあつた、身近なものを活かすという「当たり前」が、失われていくことがもったいない。  
(太田工務店株式会社 太田 亨)

多可町の人工林の7割はヒノキ。建築資材として需要があるのではと  
北はりま森林組合の協力のもと、多可町産ヒノキの原木を入手することに成功。しかし、「建築資材として利用するには製材工程が必要。林業の衰退で減った製材の場を確保しなくてはいけない」と自ら製材所を作つて加工を始めた。「製材所がなくなると本場に地域材が使われなくなる。若者を育成して材料の供給を担う人材を絶やすことなく継承したい」と地域材を活用する仕組みの再構築を進める。そして「僕はひとりの大工として、このヒノキで家を建てたい」と話す。  
事務所には娘の川口翼が多可町産ヒノキで作る可愛い木工品が並ぶ。地域内外を問わず来てもらえる拠点として、木を使う楽しさを発信。「親子で楽しんでもらえるもの」と話す。太田は「山で自然を体験したり、ここでワークショップに参加したり、多可町で1日中、木と触れ合せて遊べるようにしたい」と計画する。  
丹波篠山市にある「mocca」には、地域材の活用を志す仲間が集う。世代を超えてアイデアや技術を交換することで太田の取り組みは広がり、進んでいく。



「大工さんになりたかっただけ」と話すのは、多可町で工務店を営む太田亨。伝統工法の技術を有する大工職人でもあり、地元地域材であるヒノキで家づくりを行っている。「きっかけは多可町で地域の人と関わるうちに、森林を持っている人から地元の木を使つてくれないかと言われたこと。話を聞くと、

設計計画では、いまだ完成途上にある太田工務店事務所内の木工品ショップ。



12

12

ヒノキのボールペン

ヒノキのキーホルダー、盃、ペン立てなど、様々なノベルティグッズを制作。



10

10

淡路島鉛筆

淡路島産ヒノキの2B鉛筆。無塗装なので、ヒノキの感触や削った時の香りも楽しめる。



11

11

淡路島鉛筆

淡路島産ヒノキの2B鉛筆。無塗装なので、ヒノキの感触や削った時の香りも楽しめる。



8

9

拭き漆のお椀

地域の伐採木を素材に、製材から木地挽き・漆塗り仕上げまでの全工程を工房で行う。



9

8

ひの木ん魚®(ひのきんぎょ)

多可町のひのきで制作。お風呂で遊びながらプチひのき風呂を味わうことができる。



7

7

ひのき精油

但馬地方の「ひのき」から自社で精油を抽出。ひのき本来の自然な香りが楽しめる。

MEISTER'S

「木は見た目ではわからない」の言葉が今も胸に。

兵庫県産木材製品の営業に行ったとき、「木は見た目ではわからないし、どこのも一緒」と言われたことがショックで。確かに木の最大の弱点かもしれないけれど、価値を伝える方法を模索したい。(兵庫県森林組合連合会 河合 貴則)

各生産者情報はP22~23にあります。

7.正垣木材株式会社 8.太田工務店株式会社 9.居七十七(いなと) 10.有限会社田中製材所 11.ヒラマツグミ一級建築士事務所 12.兵庫県森林組合連合会



18



16



17



14



15



13

18

組手什(くでじゅう)

等間隔に切り欠きのある2mの板材。必要な長さにカットして、棚や間仕切りを。

17

樹木布-JumokuFu-

木から生まれた再生繊維。樹木由来の色合い、香り、心地よい肌ざわりが特徴。

16

間伐材使用の外構部材

間伐材に防腐処理加工を施した外構部材。他にも雑貨など設計製作を行う。

15

リバー丸テーブル

楠木とエポキシレジンで、材の表皮は自然のままに、楠木特有の縮歪(ちぢみもく)を際立たせた作品。

14

kitruss-mini

ヒノキの丸棒の先端に専用の金具を取り付け、組み立てれば遊具、パーティション等に。

13

災害用ログモジュール

災害時の避難所環境の向上を目的とした組立式の木製間仕切り。

MEISTER'S

「森を纏(まと)う」心地よさを。

アパレルの家業を継ぐ時に日本の原料を使った糸を作りたい、そう思った時に思い出したのが大好きな山や自然でした。森を纏(まと)うことで木との繋がりが深まる人生を増やしたい。(縁樹の糸 ENGI no Ito 加藤 貴章)

MEISTER'S

欠点だらけの木こそ面白い。

普通は木目がまっすぐなものが多い木とされるが、木目が波打ったり、ボコボコなっていたり、この世に一つしかない見た目が面白い。(ちひろ工房 濱田 篤)





24



22



23



20



21



19

24

**宍粟市誕生祝い品(しその箱庭)**  
 新生児の誕生祝い品として宍粟材のヒノキ・スギで製作。「東京おもちゃ美術館」監修。

23

**つみヒノキ**  
 建具製作の技術を活かした精度の高いヒノキの積み木。鉦(かな)で仕上げた表面も気持ち良い。

22

**森と木を学ぶ木工キット「ハンモックン」**  
 「木になぜ節があるのか」「どうして音が違うのか」等、森林を学ぶ教材キット。

21

**IKONIH TOY なみのリパブル**  
 揺れ動く波間に浮かぶ泡をのせていくイメージで遊ぶ。波が多いジャンボバージョンも。

20

**きみたつくミキ**  
 日本の伝統工法でもある「組み木」をモチーフにした木のおもちゃ。

19

**木製ままごとキッチン**  
 角を丸め、すべての面を研磨することでやさしい手触りに。扉にはドアダンパーを使用。

**MEISTER'S**

林業以外の世界とも繋(つな)がりを。

外材を扱っていますが、いつまで商売が成り立つかはわからない。木に関わる人たちだけで木の素晴らしさを語り合うだけでなく、もっと他の世界と繋(つな)がっていければと思っています。(有限会社新宅善廣商店 アイコニーストア兵庫 新宅 隆史)

**MEISTER'S**

ものを手入れすることで広がる想像力。

保育園で木育インストラクターとして、子どもたちと箸を作って手入れもきちんと教えました。自分たちが暮らしの中で使っている物は必ず誰かが作った物なんだ、と少しでも想像してくれたら嬉しい。(株式会社松崎(きみたつシリーズ) 松崎 裕太)

# 【建具】

建具（たてぐ）は、建築物の開口部に設けられる開閉機能を持つ仕切り。おもに壁（外周壁や間仕切壁）の開口部に取り付けられて扉や窓として用いられることが多い。

## 無垢材を 手入れ しながら 使い続ける。

建具とは、扉や窓など部屋を仕切るモノのことです。最近では、手入れが簡単なアルミサッシなどが多くなっていますが、昔は大半の建具が無垢の木材で作られていました。経年変化による風合いを楽

しみながら、時には木の表面を削り直すことで美しさを蘇らせて、ひとつの建具を大事に使い続けてきました。

建具に兵庫県産のスギを使って家を建てた山田克幸さんは、「棚の上に猫の通り道を作ってもらったり、ドアを削って磨いてもらったり、建具が完成したあとも地域の建具屋さんとながっている。そんな人間関係が心地いいと思います。」と話します。

兵庫県建具組合では、今までは県外から仕入れていた木材の一部を、兵庫県内から仕入れる取り組みを始めました。組合員は、各自で県内の木材市場に行き、建具に適した木を見繕って競り落とし、建具へと加工します。

建具に「ひょうごの木」を使うことで、モノを手入れしながら長く使い続ける暮らしを味わってみてください。



### 兵庫県建具組合連合会

中播磨 / 有限会社大村建具店	姫路市広畑区長町 57-1	Tel.079-287-6887
中播磨 / 大山水工	姫路市亀山 301	Tel.079-234-0321
中播磨 / 加茂建具店	姫路市飾磨区英賀宮町 2-14	Tel.079-236-0604
中播磨 / 甲南興業株式会社	姫路市豊富町御蔭 110-1	Tel.079-264-4444
中播磨 / 小林建具店	姫路市船津町 1375-2	Tel.079-232-3837
中播磨 / 菅田建具店	姫路市上大野 3-3-74	Tel.079-285-0013
中播磨 / 中川建具有限会社	姫路市飾磨区亀山 63-2	Tel.079-235-8224
中播磨 / 西尾建具店	姫路市田寺 5-1-11	Tel.079-297-1090
中播磨 / 有限会社濱田建具製作所	姫路市白浜町甲 2180-2	Tel.079-246-1128
中播磨 / 株式会社福本建具店	姫路市書写 1019-330	Tel.079-297-3289

中播磨 / 山本建具店	姫路市飾東町庄 166	Tel.079-253-8575
西播磨 / 佐用建具	たつの市揖保町中臣 766	Tel.0791-67-8900
但馬 / 荒川建具店	美方郡香美町香住区若松 691	Tel.0796-36-0346
但馬 / 北垣建具店	豊岡市桜町 11-29	Tel.0796-89-9489
但馬 / 竹野木工所	豊岡市竹野町草飼 408	Tel.0796-47-0078
但馬 / 田村建具店	美方郡香美町村岡区村岡 3038-6	Tel.0796-94-0639
但馬 / 辻井建具	豊岡市大手町 7-1	Tel.0796-22-2995
但馬 / 中尾産業株式会社	養父市関宮 294-1	Tel.079-667-2915
但馬 / 福田建具店	養父市広谷 390	Tel.079-664-0812
但馬 / 和田建具製作所	養父市大屋町門野 76	Tel.079-669-0295

Q 8

なんで「ひょうごの木」を使うの？



木製品の製造時には、輸送距離も重要です。木材をトラックや貨物船によって運ぶ際には、CO2が排出されます。例えば、ロシアから丸太を購入するより、国内で購入したほうが、CO2の排出量を35%抑えられた研究結果もあります。また、兵庫県には森林が豊富にあります(森林面積 全国14位)。その森林を活用して林業を振興することで、県内の森林の手入れが進み、経済活動も活性化できます。

Q 5

森林が生き物の多様性を  
守っているってホント？



森林は、多くの野生動物が生息する場となっています。特に里山林では、薪・木炭などの材料として使うために、昔から草刈りや樹木の伐採がされていたことで、明るい環境が保たれており、特有の動植物(モリアオガエル、オオムラサキなど)が生息しています。また、森林から流れ出る水には養分が含まれており、海に住む魚などの生息と繁殖を助けています。



ひょうごの森と木にまつわるエトセトラ

「ひょうご木製品マイスター」が使う「ひょうごの木」は森から生まれますが、

森や木について、皆さんはどのくらいご存じでしょうか。

「もっとたくさんの方に森や木のことを知っていただきたい!」という思いで働く兵庫県林務課の職員が、

皆さまの疑問や質問にお答えします!

Q 9

森林と特産品との  
意外な関係？



兵庫県は、北は日本海に面し、南は瀬戸内海から太平洋へと続いています。明石の真鯛や香住のズワイガニなどは、兵庫県を取り囲む豊かな海の恵みです。また、六甲山の麓に位置する灘の酒といった日本酒づくりには、良質な水が欠かせません。しかし、兵庫県でも放置された森林が多くあります。兵庫県の豊かな海や良質な水を守るためにも、木を使うことが大切です。

Q 6

木製の方がプラスチック製より  
環境にいいの？



日本では、廃棄されるプラスチックの20%程度を海外に輸出してリサイクルしていますが、その一部が不適切に扱われて海洋に流れ出ることで、海洋汚染を引き起こしています。一方、木材は自然界に流出したとしても一定期間で分解され、生態系に影響しません。また、プラスチックは焼却するとCO2が発生しますが、木材はカーボンニュートラルなので、焼却しても空気中のCO2濃度に影響しません。

Q 3

森林とおいしい水って  
関係あるの？



手入れされた森林の土はスポンジのように小さな隙間が多くあります。森林に降り注いだ雨は、このスポンジ状の土壌に蓄えられ、ゆっくり時間をかけて流れ出ます。こうして大雨が降っても雨水が急激に川に流れ込むことなく、雨が降らない日にも川に水が提供されます。そして、雨水は土壌の中を流れる間に、濁りがなくなり、適度なミネラルを含んだおいしい水になります。

Q 1

木を伐ることは  
環境に悪いのでは？



世界全体として森林面積は減り続けています。主にアフリカや南米などで熱帯雨林が減少しており、その7割以上が農地の開拓に起因しています。一方、日本の森林面積はここ数十年ほど変わっておらず、むしろ樹木が年々成長することで樹木の体積は増加しています。手入れされずに成長した森林は、森林としての働きも弱くなることから、樹木を伐採して利用していくことが重要です。

Q 10

私たちが普段の生活で  
できることってなに？



私たちの暮らしの中でも「ひょうごの木」を使うことでできるSDGsがあります。

- 子どものおもちゃや日用品を、プラスチック製から木製に替えてみる。
- 外国製の家具より、「ひょうごの木」で作った家具を買ってみる。
- 家を建てるときに、「ひょうごの木」を使ってみる。

Q 7

カーボンニュートラルって  
なに？



木材も燃やすとCO2が発生しますが、伐採後に再び樹木を植えることで、その樹木がCO2を吸収します。間伐を行った場合も、残された樹木がより大きくなることで、CO2を吸収します。このように、木材を燃やして発生したCO2と森林が吸収したCO2が相殺され、大気中のCO2濃度に影響を与えないことをカーボンニュートラルといいます。

Q 4

森林はどうやって  
地球温暖化を防いでいるの？



森林は、地球温暖化の原因であるCO2を吸収することで、地球温暖化の防止に貢献しています。森林のCO2吸収量は、樹木を伐採したあとに植栽したり、間伐したりすることで、より多くなります。また、森林から生み出された木材を住宅やビルに使うことで、CO2を空気中に放出することなく、都市の中に留めることができます。建物にたくさんの木材を使った都市は、「第2の森林」とも呼ばれます。

Q 2

木を切らないと  
森林はどうなるの？



森林では樹木が土に深く根を張り、土の表面に草木が生えることで、土砂の流出を防いでいます。森林も農作物と同様に、間伐(木を間引くこと)などの手入れをしないと、密集して細長い木ばかりになります。すると、根は十分に発達せず、森林の中も暗く草木が生えないため、土砂災害を防止したり、水を蓄えたりする働きが低下し、災害に弱い森林になってしまいます。

<p><b>正垣木材株式会社</b> </p> <p>昭和26年の創業以来、兵庫県北部の但馬地方に本社を置く。今も昔も「木材」という大切な資源に愛情を込めて、木のぬくもりを様々なかたちで伝えることで、人とまちを元気にできるよう取り組んでいる。</p> <p>養父市大屋町大杉504 TEL.079-662-2341 http://www.shougaki-wood.com</p>	<p><b>但馬</b></p> 
<p><b>居七十七(いなとな)</b> </p> <p>「素材を理にかなった物に」をコンセプトに、お皿やお椀などの漆器、家具などの木工品を創作。作品を展示するお店では、フツとなごむような日用品を紹介したり、住まいなどの設計デザインも行う。</p> <p>丹波篠山市大山上517 TEL.079-506-0343 https://poncrafts.com/inatona/</p>	<p><b>丹波</b></p> 
<p><b>株式会社ウエダ建具</b> </p> <p>木製建具、木製家具の製作。モダンな住宅のドアから神社仏閣の伝統的な建具まで、木製建具なら何でも対応できる。</p> <p>丹波市氷上町北野124-4 TEL.0795-80-2615 http://www.uedatategu.jp/index.html</p>	<p><b>丹波</b></p> 
<p><b>Natural Backyard</b> </p> <p>木から生まれるモノやコトを楽しむ場所として、工房と雑貨店の2拠点で様々な活動を行う。商品は針葉樹材での製品作りを中心に、オーダーメイドでは樹種を問わず小物から大型家具まで幅広く手掛ける。</p> <p>丹波篠山市二階町89-1 TEL.070-8349-1180 https://naturalbackyard.jp</p>	<p><b>丹波</b></p> 
<p><b>NPO法人Natural Backyard Factory</b> </p> <p>「木」と触れ合い、遊ぶことから「木」という資源の活用を広めたいと考えるNPO法人。ワークショップを通して地域活性や森林再生に取り組む。幼稚園・保育園・商業施設などの遊具や家具の製作も行っている。</p> <p>丹波篠山市西阪本564番4 TEL.079-550-9092 http://nbyf.or.jp</p>	<p><b>丹波</b></p> 
<p><b>NPO法人バイオマス丹波篠山</b> </p> <p>1.「里山」利用を通じて篠山から地域経済のイノベーションをおこす。2.将来を担う子供たちが地域に根づくための活動を支援する。3.木質バイオマスを通じて持続可能な低炭素社会構築を推進する。という3つのビジョンで活動している。</p> <p>丹波篠山市垣屋159番地の2 TEL.079-593-1150 http://www.bio-sasayama.com/ourvision/</p>	<p><b>丹波</b></p> 
<p><b>株式会社木栄</b> </p> <p>地元の山林の管理から、製材、乾燥、加工、施工管理、土地分譲まで一貫して行い、木の持つ優しさと温もりの詰まった資材を届ける。自然破壊ではなく、山を守り、自然と共存することを大切に考えている。</p> <p>丹波市青垣町絵倉323-3 TEL.0795-87-5216 http://www.mokuei.co.jp</p>	<p><b>丹波</b></p> 
<p><b>アトリエ KIKI</b> </p> <p>淡路島の中央部、洲本市五色町で木工制作を行うアトリエ。人との出会いとコミュニケーションを大切に、一つ一つのを丁寧に作っていくことを心掛け、デザインから制作までの作業を続けている。</p> <p>洲本市五色町鮎原小山田867 TEL.0799-32-1515 https://www.kitajimanobuyuki.com</p>	<p><b>淡路</b></p> 
<p><b>ちひろ工房</b> </p> <p>木材の持つ「ぬじれ」や「縮空」などの木目の美しさとエポキシレジンを融合させたテーブルや時計など、こだわりの手造り家具を製造販売。できる限り「木を無駄にしない」「物を無駄にしない」という思いで制作する。</p> <p>淡路市久留麻2093 TEL.090-8008-2211 https://chihiro-kobo.com</p>	<p><b>淡路</b></p> 
<p><b>ヒラマツグミー級建築士事務所</b> </p> <p>淡路島を拠点に活動する設計事務所。淡路島の素材を使った家の提案「淡路島の家プロジェクト」など、ここで暮らすための建築と真摯に向き合う。</p> <p>洲本市中川原町中川原555 TEL.0799-25-8315 http://hgumi.net</p>	<p><b>淡路</b></p> 
<p><b>縁樹の糸 ENGI no Ito</b> </p> <p>「森をまとう 自然とうつろう」をテーマに樹木を繊維につむぎ、暮らしに寄り添う布製品を製造。スカーフ、ハンドタオル、インテリア等を展開し、六甲山の木や文化建築等の端材を中心に、各地の木を再生させている。</p> <p>大阪市北区山崎町5-8 TEL.06-6314-3713 https://www.engineito.com/</p>	<p><b>大阪府</b></p> 
<p><b>有限会社田中製材所</b> </p> <p>製材業の視点から川上から川下、ユーザーへの関係構築を努めている。地域材利活用のコンサルティングも行っている。</p> <p>羽曳野市西浦3-2-25 TEL.072-957-0707 https://www.tanakayoshi.co.jp/</p>	<p><b>大阪府</b></p> 

<p><b>isDesign</b> </p> <p>「柔らかな陽射し、流れる雲、頬を撫でる緑色の風」そんな穏やかで、心豊かな暮らしをサポートするインテリアを提案し、オリジナル家具、キッチン、木の小物などのデザイン製作を行う。芦屋に実物や写真がみられるショールーム有。</p> <p>芦屋市宮塚町11-18 フリックコートアネックス1F TEL.0797-25-1850 http://www.koji-okada.com</p>	<p><b>神戸</b></p> 
<p><b>大槻家具工房</b> </p> <p>無垢材を使ったオーダーの家具木工品を一点一点ハンドメイドで制作。大切に使い続けられる家具を届けている。工房では初心者からベテランまで目的や技量に合わせて作品作りができる少人数制の木工教室も開講。</p> <p>神戸市北区八多町吉尾412-3 TEL.078-987-0073 http://www.otsukikagu.com</p>	<p><b>神戸</b></p> 
<p><b>有限会社新宅善廣商店 アイコニーストア兵庫</b> </p> <p>1989年に材木店として創業以来、様々な樹種の木材を製造販売に携わる。近年、森林環境問題の改善や持続可能な事業展開を目標に国産松の玩具家具IKONIH(アイコニー)を立ち上げ。地域に貢献する材木店を目指している。</p> <p>神戸市西区神出田井1320-7 TEL.078-965-2444 https://shintaku-wood.com/</p>	<p><b>神戸</b></p> 
<p><b>兵庫県森林組合連合会</b> </p> <p>兵庫県下の17森林組合を会員とする協同組合連合会。販売事業では兵庫県産のスギ・ヒノキ・広葉樹を使用した屋内外商品やノベルティ商品など、幅広い製品を扱い、様々な商品製作の相談にも応じる。</p> <p>神戸市中央区北長狭通5-5-18 TEL.078-381-5425 http://www.hyogomori.jp/</p>	<p><b>神戸</b></p> 
<p><b>株式会社松崎(きみみつシリーズ)</b> </p> <p>「兵庫の木でできた最高の知育玩具」をコンセプトに、木の知育玩具を製作。木育インストラクターの有資格者が保育園の先生たちの現場の意見を取り入れながら共同開発した商品がラインナップされている。</p> <p>神戸市北区道場町塩田3191-3 TEL.078-985-0077 https://m-kimitatsu.com/</p>	<p><b>神戸</b></p> 
<p><b>株式会社大塚工務店</b> </p> <p>じっくり時間をかけて、「体に馴染む家、世代を超えて好きになる家」を住む人と愉しみながら木の家をつくる。パッシブデザインを用いて、兵庫の気候や風土にあった設計を提案。自社設計で、棟梁も自社の熟練した大工が行う。</p> <p>明石市桜町2番22号 TEL.078-911-8537 https://kinoie.life/</p>	<p><b>東播磨</b></p> 
<p><b>太田工務店株式会社</b> </p> <p>高度な技術と美観を誇る日本の伝統工法による家づくり。その技術を継承し「良質な建物」を造ることで信頼に応える工務店。プレカット加工や機械による仕上げが主流のなか、“手にこだわった仕事”に力を注いでいる。</p> <p>多可郡多可町中区門前337-1 TEL.0795-20-5434 https://otakoumuten.com/</p>	<p><b>北播磨</b></p> 
<p><b>有限会社くがい林業</b> </p> <p>兵庫県産材で土木造園資材、外構部材などを製作。</p> <p>姫路市林田町上伊勢字西山1138-1 TEL.079-261-4191</p>	<p><b>中播磨</b></p> 
<p><b>西播磨木材株式会社</b> </p> <p>兵庫県産木材を使用した防腐処理や改質処理を行い、公園などの屋外製品を製作・施工している。また、そのなかで各市町の地域産木材であることにこだわった家具や小物、記念品などの製作も行う。</p> <p>姫路市安富町三森421-3 TEL.0790-66-2670 http://www.nishihari.com/</p>	<p><b>中播磨</b></p> 
<p><b>ウッディ・ワイ工房</b> </p> <p>兵庫県産木材を使って木製品全般、例えば森林公園、一般公園での木製品ベンチ、テーブル、案内板などの各サイン類、一般向けのウッドデッキ、木壁他ガーデニンググッズ、雑貨や外構部材の設計、施工リフォームも行う。家具などの修復も受けている。</p> <p>たつの市龍野町日山632 TEL.0791-62-2262</p>	<p><b>西播磨</b></p> 
<p><b>合同会社チェシャーズ・ファクトリー</b> </p> <p>宍粟市北部の豊かな自然に囲まれた小さな木の工房。木のおもちゃ・子ども用品を中心に、ひとつひとつ丁寧に手作業で木のぬくもりを感じながら、未永くいつまでも使える製品をつくっている。</p> <p>宍粟市波賀町原155-3 TEL.0790-775-3444 https://cheshires-factory.com/</p>	<p><b>西播磨</b></p> 
<p><b>テノン合同会社</b> </p> <p>「テノン」は木工用語で「ホゾ」という意味。テノンでは古来より伝わるホゾ組みという仕口で椅子を作っている。</p> <p>佐用郡佐用町乃井野1674-42 TEL.0790-79-2604 https://small-axe.jp/</p>	<p><b>西播磨</b></p> 